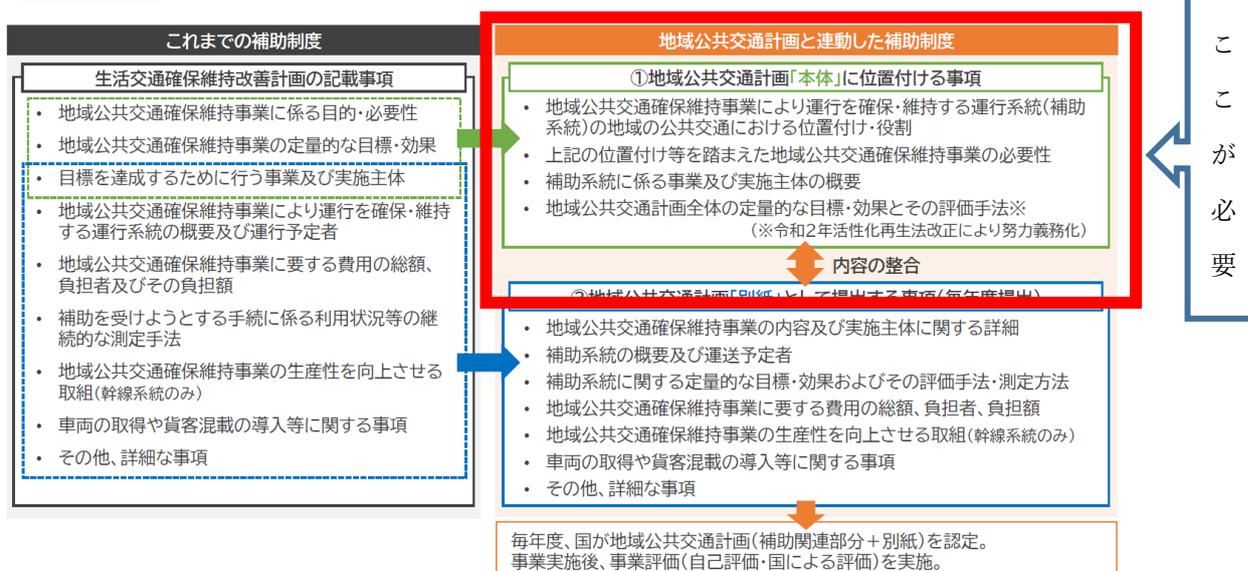


中津川市地域公共交通計画の見直しについて

背景

■補助システムの位置付け

- 令和2年11月の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正と合わせる形で、地域公共交通計画の作成及び計画における補助系統等の位置付けが補助要件化（計画制度と補助制度の連動化）された。
- 補助事業の活用のためには、補助系統の地域における位置付けや補助事業活用の必要性等について、地域公共交通計画に記載が必要となる。
- 本制度の経過措置期間は令和6年度事業（令和5年10月1日～令和6年9月30日）までであり、経過措置終了後に、補助対象系統等を位置付けた地域公共交通計画がない場合は、補助対象外となる。



■目標値の見直し

- 中津川市地域公共交通計画の第6章(32ページ)では、目標の評価指標を掲載している。
- 目標値は計画改定時(令和3年度)の数値を基準としており、コロナ禍での数値が用いられている。
- そのため、目標値の水準が低く、2022年度時点で既に目標値を達成しているため、見直しが必要になる。

【現在の目標値】

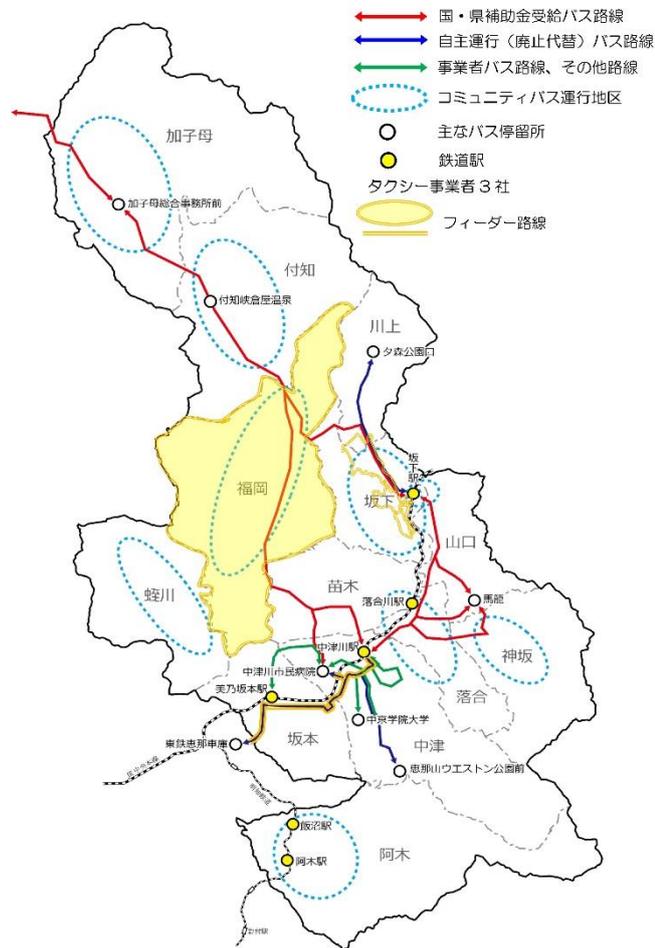
| 評価指標 | 2021年度 (基準年度) | 2026年度 (目標年度) |
|-------------------------------|---|------------------|
| 指標1 北恵那バス路線沿線地区内の高校生バス通学割合 | 25.3% | 25.3%以上 |
| 指標2 住民1人あたりの地域公共交通年間利用回数 | 6.7回/人 | 6.7回/人以上 |
| 指標3 利用者1人あたりの地域公共交通維持費用 | 261円/人 | 261円/人以下 |
| 指標4 運転手の新規採用の増加 | <ul style="list-style-type: none"> ・女性運転手の増加 ・就職説明会や運転手体験会などの参加者から新規採用 など | |

ここを見直し

見直し方針（案）

■補助システムの位置付け

- ・計画書10ページの地域公共交通計画ネットワークにフィーダー路線を明記。



- ・地域公共交通計画確保維持事業の必要性を記載。

中津川市地域公共交通計画を踏まえ、複数の交通機関が役割を分担し、地域・交通事業者・行政の連携により利便性の高い持続可能な公共交通網を維持すること、また、地域公共交通確保維持事業により地域内フィーダー系統を確保・維持することで、地域住民の日常生活に必要な移動手段を存続させていくことが必要である。

- ・補助系統に係る事業及び実施主体の概要を記載。

| 補助対象事業者の名称 | 地区 | 番号 | 運行系統名 |
|------------|----|----|------------------|
| 北恵那交通株式会社 | 福岡 | 1 | 福岡線 |
| 北恵那交通株式会社 | 坂本 | 2 | 坂本三坂線 |
| | 中津 | 3 | 坂本三坂線（市民病院経由） |
| 株式会社サカガワ | 坂下 | 4 | 上野線 |
| | | 5 | 上野線（きりら坂下経由） |
| | | 6 | 上野・外洞線 |
| | | 7 | 上野・外洞線（短縮ルート） |
| | | 8 | 上野・合郷線 |
| | | 9 | 外洞線（上り） |
| | | 10 | 外洞線（上り）（きりら坂下経由） |
| | | 11 | 外洞線（下り）（きりら坂下経由） |
| | | 12 | 西方寺・握・高部線 |

■目標値の見直し

【2022年度の実績】

| 評価指標 | 2022年度 | 2026年度 （目標年度） |
|-------------------------------|--------|------------------|
| 指標1 北恵那バス路線沿線地区内の高校生バス通学割合 | 28.8% | 25.3% 以上 |
| 指標2 住民1人あたりの地域公共交通年間利用回数 | 7.5回/人 | 6.7回/人 以上 |
| 指標3 利用者1人あたりの地域公共交通維持費用 | 249円/人 | 261円/人 以下 |

【実績値の推移】

新型コロナウイルス感染症の影響 大

| | 2016 年度 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 指標 1 | 30.6% | 30.3% | 31.5% | 29.7% | 26.6% | 25.3% | 28.8% |
| 指標 2 | 8.6 回/人 | 8.6 回/人 | 8.7 回/人 | 9.2 回/人 | 7.5 回/人 | 6.7 回/人 | 7.5 回/人 |
| 指標 3 | — | — | — | — | 204 円/人 | 261 円/人 | 249 円/人 |

- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、利用客は回復傾向にあるとはいえ、テレワーク導入等の社会情勢により、コロナ禍以前の数値まで回復することは困難と予想。

案① 2022 年度の数値を目標値とする。

- 指標 1 28.8%
- 指標 2 7.5 回/人
- 指標 3 249 円/人

案② コロナ禍も含めた5カ年（2018 年度～2022 年度）の平均を目標値とする。

- 指標 1 28.4%
- 指標 2 7.9 回/人
- 指標 3 238 円/人